

2021年度第2回小倉競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 唐戸特別

唐戸（からと）は、山口県下関市の地名。古くから栄えた港町であり、旧下関英国領事館、旧秋田商会ビルや下関南部町郵便局など、レトロな建物が建ち並ぶ。また、ふぐで有名な唐戸市場がある。

○ 和布刈特別

和布刈（めかり）は、北九州市門司区の地名。名は、和布刈神社に由来する。「和布刈」とは、わかめを刈り取ることを意味し、同神社では旧暦の元旦に神官がわかめを刈り取る行事「和布刈神事」が行われている。

○ 大濠特別

大濠（おおほり）は、福岡市中央区の地名。福岡城の外濠を利用して造られた大濠公園が有名。池の周りには、ツツジや柳が植えられており、敷地内には、県立美術館、能楽堂、日本庭園などもある。

<第2日>

○ あすなる賞

あすなる（翌檜）は、ヒノキ科の常緑高木。日本固有種で、全国の山地に自生し、大きいものは高さ30m、直径1mにもなる。葉はやや厚く大きなウロコ状で緑色をしており、裏面には雪白色の模様がある。抗菌性と耐湿性に優れ、古くから木材として用いられている。

○ 北九州短距離ステークス

北九州（きたきゅうしゅう）は、福岡県北部にある政令指定都市。同市の官営八幡製鐵所関連施設を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録されている。

なお、同市は小倉競馬場の所在地でもある。

○ 太宰府特別

太宰府（だざいふ）は、福岡県中西部の市。律令制下で西海道（九州全土）を統括した官庁である大宰府が置かれていた。また、「学問の神」と崇められる菅原道真を祀った太宰府天満宮があり、全国から多くの参拝者が訪れる。

<第3日>

○ 八幡特別

八幡（やはた）は、北九州市にある区。明治時代に八幡製鉄所が開設されて以来、工業地帯として発展した。昭和 38 年に八幡市から北九州市八幡区となり、49 年に東西に分区した。

○ 皿倉山特別

皿倉山（さらくらやま）は、北九州市八幡東区にある山。西に続く帆柱山とともに北九州国立公園となっている。山頂にある展望台からは洞海湾沿岸の工業地帯や関門海峡を一望でき、夜景が美しいことで知られている。

○ 紫川特別

紫川（むらさきがわ）は、北九州市の中心部を流れる川。延長約 20 km。小倉南区の福智山に源を発し、小倉北区で響灘に注ぐ。上流には平尾台があり、下流では北九州市最大の三角州を形成している。

<第4日>

○ あざみ賞

あざみ（薊）は、キク科アザミ属の多年草の総称。世界中に約 250 種あり、このうち日本ではおよそ 80 種が自生している。身に付けていると北欧神話に登場する雷神トールの加護が得られるとされており、「雷草」とも呼ばれている。花言葉は「厳格」「独立」。

○ 小倉大賞典（GⅢ）

本競走は、昭和 42 年に創設された重賞競走。創設以来、スタンド改築等を除き、小倉競馬場芝 1800m のハンデキャップ戦で実施されており、マイル～中距離路線での飛躍を狙う馬にとって重要な競走となっている。

○ 伊万里特別

伊万里（いまり）は、佐賀県西部の伊万里湾に臨む市。湾奥の伊万里港は、かつて陶磁器や石炭の積み出し港として栄えた。近年では大規模な臨海工業団地を造成し、造船、I C 関連産業、木材関連産業等が集まり近代的な工業港として発展している。南部の大川内や平尾は伊万里焼の産地として有名。

<第5日>

○ 春麗ジャンプステークス

春麗（しゅんれい）は、すべてが美しく映る春のこと。本競走から障害重賞競走に出走する馬も多く、後の障害戦線を占う競走となっている。

○ 日田特別

日田（ひた）は、大分県西部の市。江戸時代には、日田金で有名な九州の金融の中心地であった。市街を流れる三隅川沿いの水郷地帯は耶馬日田英彦山国定公園に属し、咸宜園（かんぎえん）跡などの史跡も多い。周辺の山地は全国屈指の杉（日田杉）の産地で、製材や木工業が盛ん。また、北端の皿山は小鹿田焼（おんたやき）で知られる。

○ 帆柱山特別

帆柱山（ほぼしらやま）は、北九州市にある標高 488m の山。名は、神功皇后の三韓出兵の際、この山から船舶や帆柱にする木材を切り出したことに由来する。

○ 早鞆特別

早鞆（はやとも）は、九州の北端、門司崎と下関市壇之浦との間の水路。早鞆瀬戸（はやともせと）の名で知られる。この付近は海峡の中で最も狭く、本州と九州の間の海峡の幅は約 630m。潮の流れも強く、最大 9 ノット（約 17 km /h）に達することもある。

<第6日>

○ ネモフィラ賞

ネモフィラ（Nemophila）は、ハゼリソウ科の一年草。原産地は北アメリカ。春に淡青色の花を咲かせる。名は、ギリシャ語の「ネモス（小さな森）」と「フィロ（愛する）」に由来する。花言葉は「愛国心」「可憐」。

○ 下関ステークス

下関（しものせき）は、山口県西端に位置する市。古くより九州や中国大陸からの本州の玄関口として栄えた。歴史的に数々の出来事に関係している都市でもある。下関市と北九州市を隔てる関門海峡は、平安時代に壇ノ浦の戦いで平家が滅亡した地であり、また幕末には長州藩と外国艦隊の戦闘の場となった。

○ 鳥栖特別

鳥栖（とす）は、佐賀県東部の市。律令時代は宿駅、江戸時代は長崎街道の宿場町として発展した。現在も九州の交通の要衝として知られ、国道 3 号と 34 号線、鹿児島本線と長崎本線の分岐点である。また、市内には国の天然記念物であるカササギの生息地がある。

<第7日>

○ 芝桜賞

芝桜（しばざくら）は、北アメリカ原産のハナシノブ科の多年草。性質が芝に似ており、桜のような花を咲かせることが名前の由来となっている。花言葉は「臆病な心」「忍耐」「希望」。

○ ウインズ八代開設10周年記念八代特別

本競走は、ウインズ八代開設10周年を記念して実施される。

八代（やつしろ）は、熊本県中南部の市。江戸時代には熊本藩家老松井氏の城下町として栄え、八代城や松濱軒などの旧跡が多く残る。また、低地では農業が盛んで、イグサの生産量は日本一を誇る。

○ 大牟田特別

大牟田（おおむた）は、福岡県南西端の市。大牟田市から熊本県荒尾市にまたがって広がる三池炭鉱を中心に石炭化学工業コンビナート群が形成され、有数の化学工業都市として発展を遂げた。同炭鉱が閉山してからは、エコタウンやテクノパークなどに参加する企業の誘致にも力を入れている。

<第8日>

○ 稲佐山特別

稲佐山（いなさやま）は、長崎県長崎市にある山。山頂にある展望台から眺める夜景は、「1,000万ドルの夜景」と称されるほど美しく、香港、モナコと共に世界新三大夜景に選ばれている。晴れた日の昼間には長崎市街だけでなく雲仙、天草、五島列島まで眺めることができる人気スポットである。

○ 壇之浦ステークス

壇之浦（だんのうら）は、山口県下関市の市街地東端、関門海峡の東の海域である早鞆瀬戸（はやともせと）に臨む海岸。源平合戦最後の戦場として知られる。関門トンネル・新関門トンネル・関門橋が集まる交通の要衝で、安徳帝を祀る赤間神宮など史跡も多い観光地でもある。

○ 由布院特別

由布院（ゆふいん）は、大分県中部、由布市の温泉地。周囲を由布岳や黒岳などの1,000m級の山に囲まれた盆地である。地名の由来は木綿（ゆふ）の産地であったこと、古代に租税を収蔵する倉院が設置されていたことからという説がある。